



# ビル・ラズウェル BILL LASWELL

グラミー賞受賞プロデューサー / ベーシスト  
リコンストラクショニスト / サウンド・アサシン

時代の先端を行く孤高の天才。何十年にもわたりミュージック・シーンの牽引役として君臨。ベーシスト、プロデューサー、レーベル・クリエイターと様々な顔を持ち、1年に366日と言われる程アグレッシブに創作を続ける。携わった作品は3000枚以上。常にクリエイティブ・フールドムを模索し、サウンド革命を成し遂げてきた。

76年にNYに移り、ブライアン・イーノ、ジョン・ゾーンやフレッド・フリスらと親交を深める。自己のバンド、マテリアルを結成。ジャズ、ヒップ・ホップとエスニック・ビートをミックスした実験的なアプローチで人々の度肝を抜く。セルロイド・レコーズ(NY)をスタートし、マテリアルやファブ・ファイブ・フレディー、ダニエル・ポンセ、マサカー等をリリース。中でもゴールデン・パロミノスは当時のアンダーグラウンド・シーンの主要なアーティストを集めたプロジェクトで、その斬新なサウンドはいつまでも色あせることはない。



83年、ハービー・ハンコックのフューチャー・ショックをプロデュース、グラミー賞を受賞。収録曲ロック・イットは、ターン・テーブルとエレクトロニカを起用した衝撃的なもので、全世界のヒット・チャートを席捲。革命的サウンドが人々を熱狂させた。ハービーの次作、サウンド・システムのプロデュースも手がけ、再度グラミー賞を獲得。その後ミック・ジャガーやピーター・ダブリエル、ヨーコ・オノ、イギー・ポップ、PIL等メジャー・アーティストを次々にプロデュース。ライズ(PIL)やシー・イズ・ザ・ボス(Mick Jagger)といったヒットを生み、その地位を不動のものとした。

同時期に、セルロイド・レコーズから、ヒップ・ホップの始祖、ザ・ラスト・ポエッツ、ジミ・ヘンドリックス&ライトニン・ロッドといった先鋭的な音を次々に発表。マテリアルのアルバム、ワン・ダウンでは、当時17歳のホイットニー・ヒューストンを初起用し話題になる。84年にスタートしたバゲッドヘッド(gt)とブレイン(ds)とのトリオ、プラクシスは圧倒的破壊力でヘッド・バンガーらを狂喜乱舞させた。86年、ソニー・シャーロック(gt)、ピーター・ブロッツマン(sax)、ロナルド・シャノンジャクソン(ds)、とスーパー・グループ、ラスト・エグジットを結成。フリー・ジャズの伝説として今なお語り継がれている。

89年にアイランド・レコードの創始者クリス・ブラックウェルとアクシオム(AXIOM)レーベルを設立。ワールド・ミュージックを取り入れ、ドラムンベース、アンビエント、ダブ作品を多数リリース。スライ&ロビー、ジンジャー・ベーカー、トニー・ウィリアムス、ヘンリー・スレッドギル、オーネット・コールマン、アフリカバンバータ、ジョージ・クリントン、坂本龍一、ブライアン・イーノ、ローリー・アンダーソン等のアルバムをプロデュース。一方で、モロッコを始めとしたアフリカ諸国、キューバ、中国、日本、ヨーロッパ...ありとあらゆる地域に出向き、ライブやレコーディングを決行、地球規模での文化融合を推進。更に創作の場は広がり続け、作家のウィリアム・バロウズ、ポール・ボウルズ、ハキム・ベイや画家のラメルジー、詩人/写真家/アーティストのアイラ・コーエン、ダライ・ラマ等といった、文化的アイコン、知の巨人らとのプロジェクトも数多く行う。マテリアルのセブン・ソウルズでは、バロウズが自著を朗読。スポークン・ワードの最高傑作と言われ、リスナーのみならず今日のクリエイターらにも多大なる影響を与えている。





マイルス・デイビスのパンサラッサ、ボブ・マーリーのドリームズ・オブ・フリーダム、サンタナのディヴァイン・ライトでは、アルバム一枚をリミックスするという大胆なコンセプトで「リコンストラクション」という新ジャンルを生み出した。又、スティングやメデスキ、マーティン・アンド・ウッド、ナイン・インチ・ネイルズ等、シングル・リミックスも多数手がけている。

99年に、今世紀最高のパーカッショニスト、ザキール・フセインとインドの至宝、セレンゲ・プレイヤーのソルタン・カーン等とタブラ・ビート・サイエンスを結成。タブラとブレイク・ビーツを融合した斬新&強烈な音で、一大旋風を巻き起こした。プロデュース作、マティスヤフのユース（ビルボード2006年トップ・レゲエ・アルバム）も記憶に新しい。



Last Exit

2011年、アクシオムのコンセプトを踏襲するレーベル M.O.D. テクノロジーズを立ち上げ、ダブの神様リー・スクラッチ・ペリーやプラクシスの新作をリリース。エチオピア初のロック・バンド JANO は、リリース2日で本国において4万枚のセールスを記録。続いて、チャド・スミス (Red Hot Chili Peppers) と新進気鋭のピアニスト、ジョン・バティストとのトリオ、ザ・プロセスや、バニー・ウォーレルのピアノ・ソロ作をリリース。自身のバンド、メソッド・オブ・ディファイアンスのアルバムもコンスタントに制作。2014年にはデジタル・オンリー・レーベル、インキュナビュラを設立。カッティング・エッジでハイクオリティな作品を次々に世に送り出している。

マサカー (フレッド・fris (gt)、チャールズ・ヘイワード (ds))、ブレードランナー (ジョン・ゾーン (sax)、デイブ・ロンバルド (ds))、メソッド・オブ・ディファイアンス等で世界各地のフェスティバルに出演。アーケイド・ファイアーのコリン・ステットソン、世界屈指のドラマー、山本秀夫、ミルフォード・グレイブス等、デュオ・ライブも継続して行い、フリー・ジャズからオルタナまでを自由自在に行き来するという神出鬼没ぶりを発揮している。トランペッターのワダダ・レオ・スミスとのデュオはニューヨーク・シティ・ジャズ・レコード紙において2014年度ライブ・オブ・ザ・イヤーとレコード・オブ・ザ・イヤーに選ばれた。



photo by  
Hiroshi Ohnuma

マテリアルとモロッコのジュジュカ・ミュージシャン、雅楽オーケストラ、DJ Krush とのコラボレーション・コンサート、映画コヤニスカッツィ (ゴッドフリー・レジオ監督作品) 映像とのサウンド・インスタレーション等、現在も斬新で独創的なプロジェクトに取り組んでいる。

新しいサウンドの終わりなき探求。クリエイティブ・フリーダムへの飽くなき戦い。食欲に、知的に、次の未来の音を模索し続ける。これから何処へ向かい、何を創造していくのか？音楽の歴史を何度も塗り替え、紡ぎ続けるラズウェル。今、最も注目すべきアーティストの一人である。

Magic calls itself the other method for  
controlling matter and knowing Space.

